

## 衛生委員会議事録（第 47 回）

|           |   |   |
|-----------|---|---|
| 日 時       | 2021 年 7 月 19 日 17:00   |   |
| 場 所       | ビデオ会議   |   |
| 出席者       | 委員長   | 人事総務部 高野  |
|           | 産業医   | 諏訪内医師   |
|           | 衛生管理者   | 人事総務部 高野  |
|           | 事務局   | 人事総務部 清水  |
|           | 委員  | 情報システム室 毛利、店舗マネジメント部 森野<br>マーケティング部 原口、人事総務部 豊田 |
| 議題        | <p>(1) 休職者・労働災害・長時間労働者の報告</p> <p>(2) 衛生委員会の構成について</p> <p>(3) 熱中症について</p>  |   |
| 決定事項・報告事項 | <p>(1) 豊田人事総務部マネージャーより、2020 年 6 月度について、休職者、長時間労働者、労働災害の状況について説明があった。</p> <p>(2) 衛生委員会の構成について、今回の衛生委員会をもって、高野人事総務部マネージャーが退任することについて報告があった。後任の衛生管理者は、現在選定中である。</p> <p>(2) 諏訪内医師より、熱中症についてご講話いただく。内容は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「熱中症」とは、体温調節の仕組みが空回りして「脱水」、「高体温」が体に起きた状態のこと。</li> <li>・暑さ指数 (Wet Bulb Globe Temperature : WBGT) とは、熱中症を予防することを目的として、1954 年にアメリカで提案された指標である。単位は気温と同じ摂氏度 (°C) で示されますが、その値は気温とは異なる。暑さ指数は人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境は、③気温の 3 つを取り入れた指標である。</li> <li>・軽症に分類される熱虚脱は皮膚血管の拡張が原因であり、頭痛、めまい、吐き気、失神等の症状がでる。</li> <li>・軽症に分類される熱けいれんは、血液中の塩分補給が原因であり、痛みを伴う筋肉のけいれんの症状がでる。</li> <li>・中等症である熱疲労は、脱水が原因であり、頭痛、めまい、吐き気、失神等の症状がでる。</li> <li>・重症である熱射病は、体温調節中枢の障害が原因であり、意識障</li> </ul> |   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>害、高体温等の症状がでる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・熱中症の発症しやすい条件は、①作業環境、②気象条件、③個人の健康状態（i 持病、ii その日の体調）である。</li><li>・積極的な水分・塩分補給が重要である。</li><li>・体調の悪いときは無理をしないこと、急な暑さや湿度の高いときは注意すること、涼しいところでしっかりと休憩をとること、適切な処置をすること、普段からしっかりと健康管理をすることが重要である。</li></ul> |
| その他 | なし  |